

「淀川水系河川整備計画原案（平成19年8月28日）」に対する具体的修正文案

氏名（安田勝美） 連絡先（電話番号）（ ）

頁数	行数	項目NO	具体的な修正分・追記文をご記入ください	修正・追記の理由をご記入ください
38	下6	4.2.2	治水への影響や水需給の抑制をふまえた利水への影響を考慮した上で～ →治水・利水への影響を考慮した上で、琵琶湖の急速な水位低下を抑制するため瀬田川洗堰等の運用を検討する。	「水需給の抑制をふまえた利水への影響を考慮した上で」 ならびに 「河川の水位変動や攪乱の増大を図る」 については、ともに決めつけてしまっていることになり、変更をすることが適当と思う。 単なる「～の導水量」では、わかりづらい。
39	14	同上	淀川大堰下流、大川（旧淀川）～ →淀川大堰から大川（旧淀川）、神崎川、寝屋川への導水量	
52	図	4.3.2	堤防の補強の図 →工法の例を増加させる。	代表の例としては、不足と思う。
59	12	4.3.3	人為的な流量増による堤防の決壊 →抹消	誤解を招く表現と思う。
65	下1	4.3.3	沿川の内水排除の規制 →規制は対応	琵琶湖の支川の内水対策は湖岸堤の建設と密接な関係が必要であり、「規制」という表現では適当でないと思う。

頁数	行数	項目NO	具体的な修正分・追記文をご記入ください	修正・追記の理由をご記入ください
64	8	4.3.3	浸水被害の軽減を図ることが可能になる →浸水被害の軽減を図る	最大の目的を明確にするべきである。
64	10	4.3.3	洪水調節目的専用の流水型ダム →「流水型」を取る。	<p>「流水型」はこのたびの流域委員会への説明で初めて使われた言葉であるが、「穴あき」に対する言葉として、なお分かりにくい。</p> <p>平素は、貯めないとの表現が、上記の説明会でも誤解を招いているところがあった。</p> <p>○ゲートなしは、現実には、ゲートをつけておいて空けておく意味だと思いが、次の課題がある。</p> <p>① ダム下流の「流水の正常な機能の維持」を行なわないのか。地元の詳細を得ることが困難になる可能性を感じる。</p> <p>② 貯水池内の広大な土地を平素にどう管理するのか。</p> <p>③ 貯水池と含めた環境対策が必要と思う。</p>